

上海と神戸

～みなとまちの交流と歴史～



展示期間：12月11日(水)～1月31日(金)

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階エントランス展示コーナー

漫画『星間ブリッジ』が描く上海

1936～1945年の上海が舞台の漫画です。時代は日中戦争の最中、日本人少女ハルと中国人少年シンは運命に翻弄されながらも絆を紡いでいきます。

本展示では漫画の現物のほか、各巻のあらすじや人物相関図が用意されており、漫画の内容がわかりやすく紹介されています。



原作/漫画 きゅつきゅぽん『星間ブリッジ』小学館 全4巻

神戸-上海間を往来した著名人

1923～1943年の間、「日華連絡船」が神戸-長崎-上海間を4日に一度の割合で結んでいました。戦前の神戸には外国人居留地が、上海には租界があり、両国の交流が盛んに行われていました。

アインシュタインやベープ・ルース、チャップリンといった世界的な著名人が、神戸や上海を訪れたという記録もあります。



上海航路案内

21世紀上海における「魔都」の復活

しばしば中国のメディアでは、上海を「魔都」と呼ぶことがあります。この表現は日本の作家、村松梢風による上海を舞台にした作品『魔都』で最初に用いられました。当初「魔都」という言葉には、ネガティブな意味も含まれていたため、積極的に使われませんでした。しかし、21世紀に入り上海を「魔都」と表現する現象が発生しています。

中国語訳版『魔都』のほかにも、中国の絵葉書を多数展示しています。



中国語訳版『魔都』



キレイな絵葉書がたくさんあります！

神戸の中の中国

現代の神戸には、南京町をはじめ、中国に縁のある場所がたくさんあります。グローバルコミュニケーション学部 森平先生のゼミ生がフィールドワークを行い、関帝廟や孫文の講演記念碑など各地を訪れました。その調査をもとに作成した解説文が展示されています。



神戸と中国との交流の歴史を感じることができます。

森平先生コレクション

グローバル・コミュニケーション学部 森平先生が所有している資料を展示しています。上海の文化・風俗を知ることができる新聞や写真、雑誌などが多数あります。中には、中国には現存していない貴資料もありますのでぜひご覧ください。



上海毎日新聞



支那風俗

編集後記

今回はグローバル・コミュニケーション学部 森平先生とゼミ生による展示でした。ゼミ生の展示では4つのグループがそれぞれ、上海と神戸に関する資料を展示しています。どのグループも詳しく分かりやすい解説文を掲示しており、神戸と上海の交流の歴史について理解しやすいです。

また、森平先生のコレクションの中から、イチオシの資料も展示しています。どれも大変貴重なものですので、じっくりとご覧ください。

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第52号

2019年12月23日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518

TEL：078(974)4584 E-mail：pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページ URL：http://opac.kobegakuin.ac.jp/

